

小学校プログラミング教育コンテンツの紹介 ～授業プラン8 5年音楽「リズムアンサンブルをつくろう」～

県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当

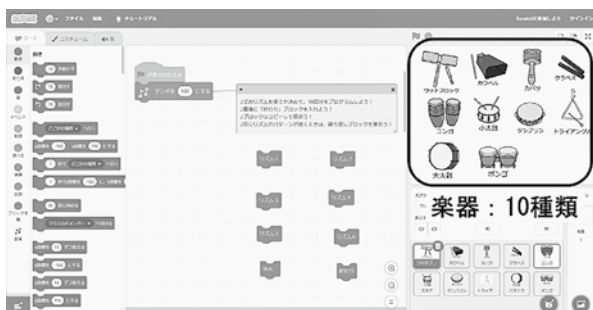
1 はじめに

今回は、県総合教育センターで作成した小学校プログラミング教育用コンテンツ授業プラン8を紹介する。

小学校5年音楽において「Scratch（スクラッチ）」を活用し、「小学校プログラミング教育の手引（第三版）」のB分類（学習指導要領には例示されてはいないが、学習指導要領に示される各教科等の内容を指導する中で実施するもの）に該当する授業プランである。

2 授業プラン8の紹介

(1)Scratch（スクラッチ）とは



【Scratchによるリズムアンサンブル作り】

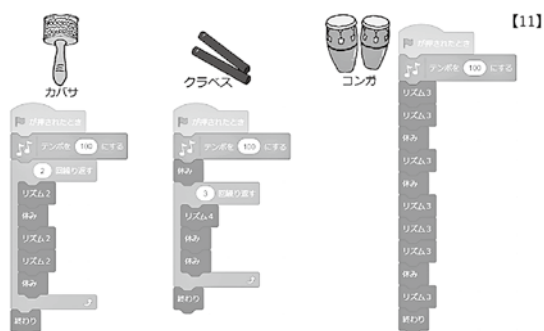
「Scratch（スクラッチ）」はマサチューセッツ工科大学メディアラボが開発したビジュアル型プログラミング言語である。様々な機能を持つブロックを組み合わせることで、比較的簡単にプログラミングを作成することができる。

(2)授業の実際

①題材名「リズムアンサンブルをつくろう」

②コンテンツを使った活動

(ア)10種類ある楽器から使用する楽器を三つ



【楽器に対応したリズムパターンを作成】

選択し、六種類あるリズムパターンブロックでリズムを作っていく。

(イ)1人1人が作成したリズムアンサンブルを持ち寄り、グループ内で再度組み合わせ、アンサンブル等を調整する。

(ウ)コンピュータでプログラムしたリズムアンサンブルを実際の楽器で演奏する。

コンピュータの特性を生かすことで、リズムアンサンブルを1人で作ることができるとともにプログラミングについても学ぶことができる。そして、個人の学びから本物の楽器を用いたグループの学びへと広がっていくことができる。プログラミングの体験を通して教科の目標を達成できるプランとなっている。

3 おわりに

本センターでは、今回紹介した授業プランの他にも九つのコンテンツを作成した。センターのWebサイトから学習指導案・提示用PowerPoint・ワークシート・デモ映像等がダウンロードできるので、ぜひ活用していただきたい。

<https://www.ice.or.jp/nc/>

